

がくしゅうかだい（2ねんせい）



【こくご】けいかくをたててすこしずつとりくんでいきましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「たんぽぽのちえ」（きょうかしょ 42～47 ページ）にとりくみます。

- ① きょうかしょ 42～47 ページをこえに出して読みます。
- ② 「たんぽぽのちえ」には、「とき」（じかん・いつ）や「じゅんじょ」をあらわす言葉があります。たんぽぽは、「いつ」「どんなこと」をしていますか。このひょうにまとめましょう。
※ノートやとりくみシートに、ひょうをうつしてもいいです。

⑥	⑤	④	③	②	① 春になると	いつ
					花がさく	どんなこと

※ 「いつ」のことばが見つからないときは、48 ページの下に①～⑥まで書いてあります。さんこうにして、まとめましょう。

※ 「どんなこと」は、1つでなくてもいいです。

- ③ 「たんぽぽのちえ」は、花がさいてからどうなるまでのことがじゅんばんで書かれた文しょうですか。□に言葉をいれてみましょう。

花がさいてから、までのことをじゅんに書いています。

◆あたらしいかん字「高」～「多」（46～47 ページ）まで、とりくみます。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「どんなこと」が複数出てくる段落もあります。もし、余裕があれば、「どれが1番大事だと思う？」と声をかけてみてください。

例) 二・三日たつと→ ・花はしぼむ ・黒っぽくなる ・花のじくがたおれる

※次の文章とつながってくるのは「花のじくがたおれる」なので、これが1番大事な文章になります。

- ・③の「どんな順番で書かれているか」という問題では、最初の挿絵と最後の挿絵を見て、どう変化しているかを確認してみてください。